計画第3期突入! CS 本格実施へ

小中貴·CS通信

NO.29 R3.8.31 幕別町教育委員会 学校教育推進員

18 日から 2 学期が始まりました。平穏な日々を期待するところですが、全国的に緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の対象地域が次々追加され期間も延長されるなど、感染爆発と言われるほどの状況になっています。感染者が増え続けている北海道もまん延防止等重点措置から緊急事態宣言に引き上げられました。修学旅行の再検討を迫られるなど、もうしばらく辛抱が続きそうです。今一度感染対策を強化しながら、教育活動を粛々と進めていきましょう。

今月は情報提供をいただいた4つの学園についてお知らせします。

さつない学園 1 学期の活動から 4月の総会のあと、緊急事態宣言を受けて会議等もすべて延期となりましたが、宣言終了後、6月中旬から7月にかけて学園各部の第1回目の会議を何とか開くことができました。コロナ対策等に留意しながら、少しずつでも進めていきたいと考え、各校での歌声練習やあいさつ運動に取り組んできました。

今後は各部会で話し合った計画を進めていく予定です。主な取組を挙げると、中学校一日登校(1月20日予定)、小中一貫カリキュラム作成、出前授業の実施(以上まなび部)、生活のきまり(重点項目を決めての取組)、小中合同あいさつ運動、歌声集会(各校での歌声活動)(以上こころ部)、教育実践交流会(実施の可否を検討)、英語検定・冬休み学習会、授業参

観交流(以上かかわり部)、業務連携(事務部)などとなっています。状況はまだまだ予断を許しませんが、できることを工夫しながら進めていきたいものです

We want to the state of the sta



「小中合同あいさつ運動」

小中合同あいさつ運動は計

画通りの実施であれば南小学校と合同での実施予定でしたが、コロナ禍により本来の形を変更し、古舞小・途別小も含め、各学校で挨拶運動を行いました。これからも学園内が元気な 挨拶で溢れることを期待します。



ちゅうるい学園AED講習会開催!8/17

8月17日(火)、学園保体部が企画した AED 講習会が忠類 小学校で開かれました。幕別消防署忠類支署から2名の講師 を迎え、小中教職員26名が参加して行われました。

白井学園長の開会挨拶のあと、救急救命と AED 機器の使い 方についての講義と実技が行われ、仲副学園長の感謝の挨拶 で閉会しました。

参加者の感想では、「久しぶりの救急救命講習だった。コ

ロナ禍の中での対応や、最近の流れを実際に教えていただき、大変有意義だった。」「実際におこなわなければならない場面がこないといいと思いつつ、あらためてやってみると冷静に対応することは難しいと感じた。定期的に講習を受け続ける必要があると思った。」など、真剣さが伝わってくる声が多数寄せられました。コロナ禍のため思うように活動を進められないもどかしさはありますが、ちゅうるい学園はできる取組を工夫しながら進めていて、感心させられます。







前期活動報告、後期計画確認

まくべつ学園役員会 8/18

8月18日(水)に第2回役員会が開催されました。これまでの活動報告と今後の活動についての確認が行われました。

まくべつ学園では、これまでに乗入授業を1学期計54時間実施、2学期以降も計画に沿って実施していくことにしています。2学期の活動としては、12月15日(水)に小中合同研修会を開催する予定です。詳細については、後日改めて提案することになっています。また、特別支援関係では、8月23日~9月3日までを小中授業自由見学期間とし、随時見学可とする取組を企画してい



ます。さらに、9月6日(月)には小中合同特別支援研修会を予定し、小中支援の交流を進めることにしています。事務局関係では、学園要覧を完成させ、今後、保護者・地域の方々に、会議等の折を活用して随時配布することとしています。

定例経営会議で計画的活動を継続! 糠内学園

8月4日(水)に定例の経営会議が開かれ、2学期からの取組が確認されました。

主なところを挙げますと、変える力部会の通信「カエルの力」の発行継続、つながる力部会の授業参観交流の再開、そのほか学園評価の結果分析、乗入授業の 11 月~12 月の実施、外国語の年間指導計画(言語活動と CAN-DO リスト…明倫小作成)の学園共通化、などが計画されています。再度の緊急事態宣言で計画通りにいくかどうか不透明ではありますが、密接に連携を取りながら活動を進めている糠内学園です。